

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子に明るい雰囲気がある。		
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の購買意欲が少しずつみえてきている。		
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・客は相変わらず低単価志向であるが、天候にも恵まれ観光客は1割ほど増加している。		
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・競合店の増床や新装の相乗効果で来客数が増加している。		
		スーパー（店長）	それ以外	・残暑の影響で、昼間は夏物商材が動き、涼しくなる夕方以降は秋物商材が動いている。		
		スーパー（店長）	お客様の様子	・催事が集客と売上に繋がっており、購買意欲がみられる。		
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・生鮮食品の売上が増加している。		
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、イベント、遊技施設へ出かける人が増加し、休日の前売券の売行きが良好である。		
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年比は97%台であり、前月比では改善している。例年に比べて残暑が厳しいことが売上を押し上げている。		
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年比100%と、先月、先々月の10%マイナスを思えば回復傾向である。ただし、好天に恵まれたことが多分に影響している。		
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・明らかに来客数が回復しているが、天候が良かったことが要因の一つであり、慎重に判断することが必要である。		
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が増加している。		
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算期ということも、昨年や半年前と比較して販売量は増加している。		
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊稼働率、宴会件数ともに前年を上回っている。		
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人客を中心とした国際航空券の販売量は、前年同月比でほぼ倍増となっている。団体旅行も前年並みまで戻ってきている。		
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・契約数に直接現れるほどではないが、客の反応がよく、明るくなってきている。		
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・当社の賃貸マンション、アパート、リフォームなどの受注が増加している。都市近郊では新規受注が、都市中心部では建て替えの受注傾向が見られる。		
		変わらない		商店街（代表者）	単価の動き	・年初と比較して客単価が下げ止まってきており、安定してきている。
				商店街（代表者）	競争相手の様子	・競合店が多い。特にスーパーなどで安い商品を販売しているため、影響を受けている。
商店街（代表者）	お客様の様子			・天候に恵まれ、先月の状況からは改善している。		
一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き			・販売量は相変わらず低調である。客単価も低い。		
一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子			・天候不順で切り花の値が高とうしているため、買い控えている客が多い。		
一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き			・天候に恵まれ、来客数は非常に良い状況である。一方、低単価の物が多く購入されており、売上は伸びていない。		
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き			・天候不順で、通常売れる商品が動かない。		
百貨店（売場主任）	お客様の様子			・半年後に着る薄手の低単価商品は動いているが、数か月後に着る厚手の単価の高い商品の動きが鈍い。		
百貨店（企画担当）	販売量の動き			・前半は天候不順で、客のニーズと売場の商品が一致しない状況である。後半になっても売上回復までには至らない。		
スーパー（経営者）	競争相手の様子			・競合店同士が安いチラシで客を奪い合っており、現状は安定しておらずその場しのぎとなっている。		
スーパー（経営者）	単価の動き			・単価の安い商品しか動かない。		

	スーパー（経営者）	販売量の動き	・お盆時期の売上が雨、冷夏などの影響で伸びなかったのが今も響いている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比95%前後を推移しており、回復の兆しが見られない。
	スーパー（店員）	単価の動き	・来客数は増加しているが客単価が低下し、売上は思わしくない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年同月比で100%の達成が見込まれる。
	衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・販売数量に大きな変化はみられない。バーゲンが好調な一方で定価の新商品の動きが悪くなり、売上は変わらない。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客は価格に敏感な上に、買上点数にも非常に慎重である。
	乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・競争相手がかなり値引きをしてきている。
	乗用車販売店（従業員）	それ以外	・来客数は若干増加しており動きがあるが、売上に結び付いていない。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・決算期であるが例年と比較して来客数の伸びが悪く、前月並みの来客数しか確保できていない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年同月の数字よりも若干下がった程度であるが、目標数字には遠く及ばない。
	住関連専門店（店員）	販売量の動き	・売上が前年比で非常に落ち込んでいる。残暑が厳しいが夏物も売れない。本格的な秋の訪れを待つしかない。
	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・公共工事と民間設備投資が上向いていない。一部住宅は上向いているものの、価格競争が厳しい。
	その他小売〔総合衣料〕（店員）	販売量の動き	・残暑が続き、秋物衣料を購入する客が減少している。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・予約客は常連が多く比較的底固いが、一般客は天候によって大きく影響を受けている。日々の変動を平均すると、状況はほとんど変わっていない。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・旅行シーズンで宿泊予約は増加しているが、全体を押し上げるまでには至っていない。
	都市型ホテル（支配人）	それ以外	・販売量、来客数、客単価のどれをとっても前年同月比で顕著な変化が見られない。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会の客は減少しているが、レストランの客は増加している。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・来客数は前年を上回っているが、客単価が下落しており、相殺するような状況になっている。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・天候によって来客数の変動が大きい。天候不順による影響を受けている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・連休や大安吉日の昼間は結婚式の客などで多忙であるが、夜になると閑散として客が少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・最近底を打った感があり、悪化していない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・残暑の影響で、来客数が伸び悩んでいる。
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・愛知万博の影響で大手企業は受注が増加しているが、中小企業は逆に事務所を閉鎖している状況である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数、客単価、販売量などすべてがマイナスの状況である。また企業からの受注も少ない。
	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	単価の動き	・前年同月比で3割減の数字となっている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・残暑が厳しく新商品の動きが鈍い。競合他店のリフレッシュオープンの影響もさほど感じられない。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・競合他店の大幅増床があったが、その後、当店を含めた百貨店は売上が軒並み前年を下回っている。市場のパイは拡大しておらず、競合のみが激化しているため、消耗戦に入りつつある。
	スーパー（店員）	単価の動き	・客単価、買上点数が落ち込んでいる。特売商品しか動いていない。
	スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・残暑で夏物の処分ができたが、冷夏で相場が上昇している青果物の売行きが不振である。さらに、競合店出店の影響で来客数が減少し、前年を割り込んでいる。

		コンビニ（店長）	販売量の動き	・タバコ増税の影響が続いており、増税前の数字に戻らない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客単価の低下に加え、来客数が減少している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・他社の新型車の投入で市場が活気づくと考えていたが、思っていたより盛り上がりせず、来客数も少ない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注数、来客数などすべてが過去最低である。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数の前年比が減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・連休が多く、レジャーに客足を取られており街は閑散としている。収入が減少し、会社の経費も使えない状況では、この業界は良くならない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・天候不順の影響を大きく受けている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店頻度がかなり少なくなってきている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅金融公庫の基準金利が上昇したことで、客が損をしているという印象を持っている。
		住宅販売会社（企画担当）	販売量の動き	・チラシを入れても反応が鈍くなってきている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・受注量が前月比で半減している。
	悪くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・近くのスーパーに酒類販売の免許が交付されたため、アルコール商品の落ち込みがかなり激しい。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・ここ1年で客単価が150円ほど減少している。
		美容室（経営者）	それ以外	・雨の日が続き、予約のキャンセルが多い。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量が5%程増加している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用ショベルの生産台数が前期比1.3倍の生産増加となっている。大部分は海外向けであり、国内向けは微増である。土木、建設業界に回復基調の兆しがある。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・試作品が増えてきており、業界各社が上向き傾向である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラック貨物が会社全体で5～6%増加している。トラック台数が愛知県だけでも3,000台減っているのが原因と考えられる。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・利益を圧縮したい好調な企業が増加しているため、経営者が決算対策で生命保険に加入する例が増えている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の大手企業の設備投資が徐々に増加してきている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシの落ち込みを懸念していたが、予想に反して増収になっている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・競合他社をみても景気は上向いており、仕事とぎれることがない。納期は短い非常に忙しい。
	変わらない	食品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・食品や生活必需品でさえ、値下げをしても売れない状況である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・単価は低下しているが販売量はやや増加しており、ようやく横ばい状態になっている。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が低迷している中で、メーカーからの仕入価格のみが上昇している。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・設備投資の積極的な動きはまだ現れていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上の横ばい状態が継続している。底に達している感がある。

		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・フル生産を続けているが、在庫の増加しない状況がここ4か月ほど継続している。
		電気機械器具製造業（従業員）	それ以外	・ミシンショーの来場者数は前回の約20%減であり、変革を進めているが先行き不透明である。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・単価が低下している。企業は物流コストを下げて浮いた分を他に回している状況であり、まだ停滞は続いている。
		企業広告制作業（経営者）	競争相手の様子	・取引先の広告代理店の売上が低迷している。大型プロジェクト関連の仕事も少なく、反応も動きも鈍い。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・印刷物の定期的な出稿量は減少しているが、細かい案件は少しずつ増加している。
		公認会計士	それ以外	・取引先の信用金庫の貸出状況からは、景気の底打ちは感じられない。大企業の業績は回復しつつあるが、下請中小企業の業績は全く向上していない。中小企業の経営者の中には、預金や土地等の個人資産を会社に投入して財務を維持しているケースも多い。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・デベロッパーによる新規土地取得動向は弱い。分譲住宅地は短期間で10%以上も値下げする動きが見られる。
		税理士	取引先の様子	・製造業を中心に良い兆しがあるが、飲食業関係については悪い状態が続いている。
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・低コストを実現するために仕入先に厳しい要求をしている。仕入先も仕事が少ないのか、弊社の要求にこたえられないという姿勢が見られる。目先の利益についてはメリットを感じる反面で、業界全体への悪影響を懸念している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	取引先の様子	・大手顧客の設備投資計画が中止あるいは延期となり、中小企業からの単発的な受注だけとなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売、海外販売ともに今期の販売目標を高く設定しているため、予算に対して未達となっている。売上実績の規模としては前年よりやや悪いレベルである。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産計画にさらに下方修正が入っている。
		輸送用機械器具製造業（工務担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの生産計画は高水準を維持しているが、大手製鉄会社の工場火災の影響でやや落ちている。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・8.3%減収の43.2%の減益となっている。
		非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・材料費は上昇し、販売価格は下落が続いているため、利益が一段と出にくい状況である。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・営業、販売やイベント関連といった短期間の派遣の需要が増加している。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・正社員の募集が減少している一方で、派遣企業を含めたアルバイトの募集は若干増加傾向にある。雇用形態がアルバイトに振れている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・就職希望者のための合同説明会への参加企業の申込が、前回の7月実施より50%増となっている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人が増加し、求職者は減少しており、月間有効求人倍率は1.41倍と平成8年の落ち込み以降の高水準となっている。在職中の求職者も増加しており、好条件の企業への転職志向がある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・不良債権処理の影響が小さくなり、求人は増加に転換しつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前と比較して有効求人が11.3%増加し、有効求職者が8.1%減少していることから、0.16ポイント上昇の0.96倍となっている。前月と比較すると0.06ポイントの上昇である。新規求人は、前年同月比で輸送用機械製造業で47.1%減少し、製造業全体では11.8%の減少、建設業、運輸・通信業でもそれぞれ8.5%、17.3%減少しているが、サービス業で41.1%、卸・小売業で27.7%増加したことから、全体では増加になっている。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険受給者は、若干ではあるが減少傾向にある。
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・以前に比べ、自動車関連企業からの求人が多数寄せられている。各社ともに年度計画の実現に向けて、選考に勢いが出てきている。
変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	それ以外	・自動車を中心に求人数は依然として堅調である。しかしながら、職種によっては労働者のスキル、年齢、性別等の条件が合わず、採用に至らないケースも目立っている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内では3か月前と比べ新規求人数が21.3%減、有効求人数が6.9%減となっている。業種別では、サービス業の減少が32.2%と目立っている。 ・常用求人が減少し、パート求人が増加する傾向もみられる。派遣や請負の求人は減少傾向にある。
悪くなっている	-	-	-